

都市づくりビジョン（案）住民説明会で頂いた主な意見

場所	住民説明会の主な意見	
区役所 (板橋・大山)	1	この計画は絵に描いた餅の印象がある。この計画に基づき、区はどのように進めるつもりであるのか、教えて欲しい。
	2	ビジョンの実現に向けて、区は率先して取り組む気持ちがあるのか。国や都、事業者が主体的に関わる取組があるが、これらの主体が積極的に動くとは限らない。 また、開発を見越した土地の買い占め等の民間事業者の動きを制限しないとうまくいかないと思う。
	3	子どもの成長に応じ、保育園や小学校がどうなるのか示されていない。ライフステージの変化に応じて、どのように施設が対応していくのかについても記述してほしい。
	4	他区では公園などの区有施設を活用して保育園を整備している。
	5	昨年度の都市計画マスタープラン（骨子案）の説明会に参加した時には3名しか出席していなかった。今回は7人であるが、説明会の周知が足りないのではないか。
グリーンホール (板橋・大山)	6	立体化と言われると高架をイメージすると思う。地下に走らせて地上部を公園や公共用地として活用する方が、緑が少ない市街地では有効であると思う。都市づくりビジョンで書き込めるのであれば、地下にしていこうことを示してほしい。
	7	加賀地区では歴史文化の記念公園をつくる取組があるが、区全体で歴史文化を活かしたまちづくりを展開してほしい。 区内には歴史的建造物はあるが、登録有形文化財が少ない。地域の方々にとって旧川越街道や旧中山道はまちの骨格であるので、歴史文化について都市づくりビジョンの中で踏み込んで示してほしい。
	8	小竹向原駅はにぎわい形成といっても用地が少ない。また練馬区境にあることから、練馬区側の都市計画との調整が必要である。 商業系と土地利用に転換することは練馬区側含めて、地区にふさわしい土地利用を誘導してほしい。
	9	ビルに建て変わると個性がなくなる。ときわ台駅前が良い例で、駅前にマンションができて街並みの個性が失われて残念である。
	10	今回、協働ということで区民が主体に参加する仕組みづくりを示していることを評価したいが、それを担保すること、都市計画上の制約を乗り越えようとする、地区計画が前提になる。 地区計画が変わる、区民が自主的にまちを変えていく仕組みを計画の中で示してほしい。
	11	区民との協働について、従来であると町会や商店会といった、行政に協力的な団体と連携する傾向にあると思う。区の方針とは必ずしもそぐわない考えを有する団体とも対話、意見交換する姿勢を見せてほしい。

向原ホール (大谷口・向原)	12	大谷口周辺の都市づくり推進地区について、日大病院の機能更新とあるが、具体的にはどのようにイメージすれば良いのか。現状の病院の体制が変わるのか、区から何か働きかけるのか。
	13	以前、交通の便が悪いのでコミュニティバスを走らせてほしいとの意見に対して、採算性が取れないので運行できないとの回答があった。一日に一本でも二本でも良いので運行してほしい。きちんと検討結果を説明してほしい。
	14	小竹向原駅周辺について、現状ではお店が少ない。生活拠点としてふさわしい利便性の向上を図るとあるが、周辺住民は池袋駅が近いので、駅周辺では買い物しないと思う。生活拠点としての利便性向上を図るのであれば、バス交通の利便性向上の方が重要であると思う。
常盤台地域 センター (上板橋・常盤台)	15	補助第26号線については話が進んでいるのか。大手私鉄の中で、東上線だけが立体化が進んでいないことに歯痒い思いをしている。立体化に併せて駅前広場等の整備を進めてほしい。立体化は非常にまちづくりに大きなインパクトがあるので、その事業推進をお願いしたい。
	16	東上線の立体化が一番の都市づくりのメインテーマであると考えている。どの程度進んでいるのか教えて欲しい。いつ着工してどこから工事する等スケジュールは決まっているのか。
	17	東武東上線の立体化がされていないことで、常盤台の北口と南口が分断されている。 まちの魅力を高めるためには、住宅だけではなく、吉祥寺に代表されるような魅力的な商店街も必要になるので、まちの分断の解消と南常盤台の商店街の活性化も行ってほしい。
	18	東京で一番住みたくなるまちとあるが、具体的にはどのような認識であるのか教えて欲しい。他区に比べて選ばれるほどの独自施策があるのか。区はどのように有るべきだと考えているのか。
	19	都市計画道路の中で未整備の路線があるが今後どのようになるのか、また、農業政策で生産緑地の問題が出てくるのがどのように対応するのかを教えてください。
	20	区の顔となる景観形成として、無電柱化の推進が示されている。常盤台一・二丁目で是非無電柱化を進めて頂きたい。
	21	板橋区を一言で示すのは難しいと思う。色々な思いや活動が混在しているのが板橋区であると思う。 例えば常盤台の住宅地は、日本の住宅地の中で有数のインフラのある住宅地であると思うし、大山商店街も有数の商店街であるし、そのような特色のある地区が集まったまちが板橋区であると思う。そのまちの特徴、住民の思い、歴史を踏まえて整理していく必要がある。地域に根ざして、住民の思いを汲んで計画を作るべきだと思う。
22	フューチャーセッションを区内で取り組み始めている。区民がこのように未来にしたいと思わせる、取り組めるようにつなげることが区役所の役割であると思う。 多様な主体と協働していききたいとあるが、どのような取組をしているのか、今後どのように進めていきたいと思っているのか、教えてください。	

	23	この建物の隣に文化施設が整備される予定であるが、現在は公園で定期的にイベントを開催しているが、文化施設整備後に地域で例えば盆踊りをしてはいけないとか地域活動に制約が生じることを心配している。地域活動に配慮した使い方を文化施設の整備計画に反映してほしい。
	24	板橋区として計画を立て、達成度合いをチェックするのは勿論重要ですが、近隣、代表的な他の自治体(区市)の動向をウォッチして、他の良い点は取り入れる、板橋区が遅れている点は改善する等してください。そういった活動をする調査部を設け、関連部署、団体と情報共有し、実行計画を適宜調整(チューニング)する体制をとってください。
	25	役所の縦割りの発想を捨てることが重要だと思います。「この件はうちの部署の担当ではありません」というのではなく、直接担当の事柄でなくても、部署間で連携をとり、相互協力、ネットワークの発想で対応、行動していただくことが重要です。役所の縦割り行政を廃し、相互協力の意識改革、行動改革をしてください。
	26	東上線の立体化(常盤台住民として、特にときわ台駅)を進めてください。東上線ときわ台駅は、立体化されておらず、踏切りがあるために、(i) まず何よりも非常に危険です(宮本警部が亡くなっています)。(ii) 人、交通の流れがさえぎられるため、きわめて不便です。このため南ときわ台の商店街もさびれていってしまっています。(iii) 景観に優れ、かつにぎわいのある魅力ある常盤台の街づくりのためにも最大の妨げのひとつになっています。2025年までに東上線ときわ台駅踏切の立体化(できれば地中化)
	27	ものづくり産業を育てることは勿論重要です。それに加えて、板橋区のイメージアップ、「東京で一番住みたくなるまち」とするため、その魅力を発信する情報生産活動(プロモーション、Web制作、出版物の発行等)を支援する施策をより積極的、具体的に行ってください。
中台地域 センター (小豆沢・志村)	28	高齢者専用のシルバー住宅ではなく、3世代が暮らすことができる、後から介護に対応できる集合住宅など、高齢者が主体になるまちになることを見据えたまちづくりを進めて頂ければ良いと思っている。
	29	最寄り駅まで徒歩で20~30分程かかり、高低差もあるので高齢者には辛い上、バスも20~30分に一本程度と公共交通も不便であることから、私の住んでいる団地も経済力のある高齢者は転出しており、経済力のない高齢単身者が取り残されている状況が進んでいる。
	30	空き家対策は都市づくりビジョンの中でどのように位置付けられているか。
	31	マンションに住んでいるが、メンテナンスが大事である。マンションで、権利関係がおかしい中古物件がたくさんある。登記の問題が解消しないと建替えができず、このままでは空き室ばかりの集合住宅が発生してくる恐れがある。区としてどのようにお考えかお聞きしたい。
志村坂上地域 センター (小豆沢・志村)	32	東京で一番住みたくなるまちを目指すということであるが、この小豆沢・志村エリアは具体的にどのような将来像を目指すのか。
	33	この地域は高低差があり、高齢者は公共交通を利用することになるが、東西方向の移動には複数の公共交通の乗り換えが必要になる。今後どのように改善されるのか。

	34	ソフトを含めて都市づくりビジョンとなったと聞いたが、エリア別の都市づくりの中で、ソフト面の取組としてはどのようなものがあるのか。
	35	協働の都市づくりについて、区民や事業者への情報提供や都市づくりへの参加に関する説明があったが、団体の設立支援や意見聴取の方法について教えて欲しい。町会を通して意向収集を図るのか、例えば月に1回集会を開くのか。
	36	協働という言葉があるが、マンションの脇に道路の雑草がひどく、自分で草刈りをしていると、住民は区に言えば良いと言う。 区も財源がないので限界があり、問題意識がある人もいるので、人づくりや人がつながって、アイデアを出して解決していくことが必要。区にはイニシアチブはとってほしいと思うが、区に要望しないと解決しないというのがそもそもおかしい。 まちづくり活動団体を認定してもらうハードルは高いのか。また認定されることによるメリットはあるのか。 成熟期を迎えた後に、衰退した団体を再度活性化することも必要なことから、3段階程度の支援のレベルが必要だと思う。
	37	都市づくりビジョンの取組は、隣接区と競合するような施設や機能を目指しても意味がない。近隣を含めた協議も必要だと思うので検討して頂きたい。
	38	マンションの老朽化対策について、どのようなマンションを老朽化マンションとしてイメージすれば良いのか。
きたのホール (徳丸・西台)	39	緑と水の創出と保全について、これから使いやすい公園をつくることが示されているが、世田谷区のプレイパークのような公園を整備するのか。
	40	都営住宅が古くなってきている。都営住宅周辺も老朽化した戸建住宅が密集している市街地が広がっているので、都営住宅の集約・建替えと併せて、周辺の市街地の改善ができると良いと思う。
	41	下赤塚駅周辺のまちづくりについて、下赤塚駅周辺としては練馬区側の光が丘駅周辺のまちづくりと連携していくと良いと思った。
成増アクト ホール (赤塚・成増)	42	成増駅南口側の駐輪場が整備されて、大変よくなったと思う。また、大山駅方向へ行くと、街並みが随分変わったと感じる。区もまちづくりについて、力を入れていることが感じられた。
	43	土地区画整理事業を施行すべき区域について、地区計画に基づくまちづくりを進めるとの説明であったが、詳しく教えてほしい。
	44	大山の方に行くと地域センターがあるが、成増の方には地域センターがないので、練馬区の施設を利用することが多い。 年を取り、地域に友達が出来てくると、自由に気軽に交流できる場所、入浴・介護サービスを利用できる施設が必要になってくると実感している。
	45	赤塚五丁目にある破線部の道路は都市計画道路なのか。
下赤塚地域 センター	46	都市計画道路は、今後新たに位置付けすることは可能なのか。
	47	破線部の一部は、土地区画整理事業を施行すべき区域に含まれていない。この区間の位置付けはどうするのか。

(赤塚・成増)	48	AIP モデル地区としての都市づくりの推進とは具体的には何を指しているのか。地元では、買い物難民、地元商店が閉店して買い物できる場所が、四丁目にはドラッグストアしかない。自転車が利用できる人は三丁目買い物に行けるが、高齢になると自転車の利用もできないので、コミュニティバスを団地内で運行するとか高齢者が暮らしやすい取組を進めてほしい。
高島平地域 センター (新河岸・高島平)	49	20年の構想をたてる際に、緑を守ることが一番大事であると思う。高島平には崖線の緑があるが、緑の中に人間が住む、少々維持管理が面倒でも既存の緑を守って頂きたい。 板橋区は植物園があることやニリンソウの植生地を保護していることが区の誇りであると思う。
	50	緑は夏の木陰としては良いが、落葉の処理が大変であるのも事実である。緑を残すことも大事であるが、風が強い時、老木は折れる危険性がある。安全性も考慮してどのような樹木を植えればよいのか、またどのような樹木を守っていくのか、専門家と相談して進めてほしい。 高島平のプロムナードは、緑が豊かな環境と評価されているが、どのような人が利用しているのか。プロムナードを歩く人、享受している人は少ないと思うので、どのように活用すれば良いのか検討してほしい。
	51	旧高七小を中心とした2ヘクタールの土地の活用方を2,3年前に検討したことがあったと記憶している。今回の都市づくりビジョンにより、その時の計画は白紙に戻ったのか。
	52	旧高七小跡地は狭いので大規模商業施設は呼び込めない。大規模マンションをつくるとしても空地が少ない。高島平駅周辺のURの高層住宅が動かないと団地全体の更新が動かない。
	53	UDCTakとの関わりを教えてください。行政とUDCが連携しているのか。
	54	高島平は建物の老朽化と住民の高齢化が進んでおり、まちを変えていく必要がある。綺麗な言葉だけ示されても実感がわからない。具体的にこの20年間で何をしてくれるのか。どのようにまちづくりが進むのか見えてこない。
舟渡地域 センター (坂下・舟渡)	56	全国的には人口減少傾向にある中で、板橋区は人口が増加していくことを前提としているのか。その場合、若い世代が増えていくことになると思うが、自転車の利用が重要になってくるのではないかと。コミュニティーサイクルなど観光施設や駅に自転車を置くことができ、簡単に移動できるような環境を整備することを考えているのか。 舟渡エリアについて、今回の都市づくりビジョンではかなり細かいことまで考えているのか、漠然としているのか確認したい。舟渡エリアは魅力的な地域で、新河岸川沿いに桜並木があり、春には非常にきれいな景観が楽しむことができる。この風景を楽しむ舟を観光目的で運行できると良いと思う。 舟渡小学校では環境教育の一環で、グリーンカーテンを昨年から3階まで張っている。同様の取組が区内で広がってくると良いと思う。LED照明の利用も進んでおりそのような細かな地域の取組を活かして貰いたい。 また、工場が移転するとマンション開発が行われる傾向にあり、操業環

		境が悪化していることを心配している。
57		<p>区民が区と一緒に協働のまちづくりを進めるとなると、観光や産業などそれぞれに対応する部署があるのか、各部署が協働のまちづくりに関する情報発信をしているのか、区民はどこに問合せすれば良いのかがわかるといい。</p> <p>個人的には地域センターなどの場で、どのようなまちづくりをしていてそれはどこの部署が担当しているのか区民や事業者へ情報発信する仕組みを設けて頂けると良いと思った。</p>
58		施策の評価は、5年か10年に1回になると思うが、計画や事業の達成度を区民に示して貰いたい。